

議会だより あまがさ

No.207

平成28年4月22日

発行：愛知県大口町議会



特集 法人町民税 税制改正で大幅減 2~5
北保育園 第2期工事へ

地方法人課税の見直しを求める意見書を提出 9

一般質問 「妊娠・出産・子育て」の切れ目のない支援を 13

若い世代の定住策を 14

税制改正で大幅減

表1 町税予算額 (▲は減額を表す)

税目	28年度	前年度比較
個人町民税	13億1250万円	4250万円
法人町民税	6億9970万円	▲3億1440万円
固定資産税	27億7017万円	9784万円
その他	2億3790万円	1150万円
合計	50億2027万円	▲1億6256万円

■ここがポイント！

- ①法人町民税
町民税法人税割の税率が下がった影響（平成26年度改正12.3%→9.7%）が本格化することや一部企業の業績の影響を見込み、3億1440万円の大幅な減額を見込んでいます。
- ②固定資産税
新築家屋や企業の設備投資等の増加により9783万円の増額を見込んでいます。

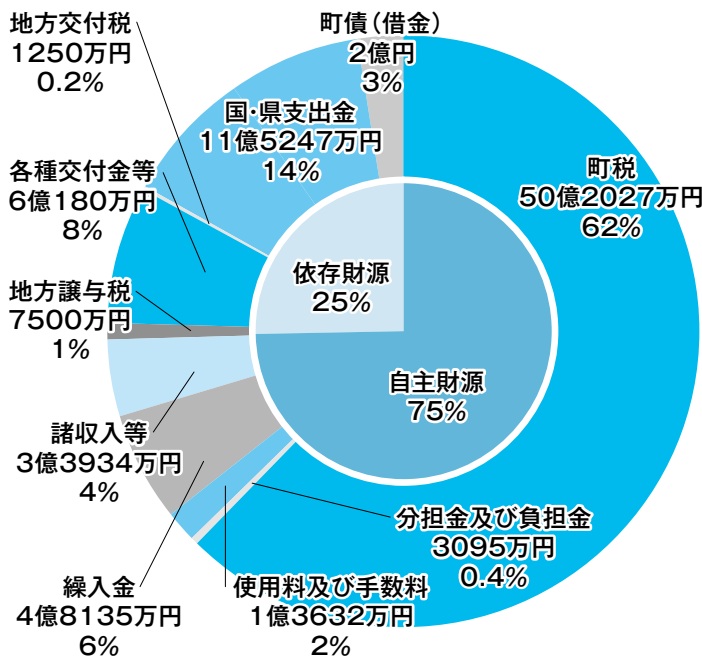


図1 一般会計歳入(項目別)

- 自主財源 町が自主的に調達できるお金
- 依存財源 国や県から交付されるお金
- 繰入金 貯金のとり崩しや他の会計から入ってくるお金
- 国庫支出金 特定事業財源として、国から交付されるお金

歳入(財源)

歳入80億5千万円のうち、町が自主的に調達できる町税や諸収入などの「自主財源」は全体の75%と比率が高く、健全な状態となっています。ただ、法人町民税の減額による財源不足で、財政調整基金(貯金)から3億4400万円の取り崩しを見込んでいます。(図1)

「町税の状況」…歳入の62%で、収入の柱
町税全体の増減推移は法人町民税の増減に比例し、景気変動の影響がみられますが、税制改正の影響もあり、その割合は低下傾向にあります。「法人町民税に支えられた豊かなまち」というイメージを改める必要があります。

固定資産税は町税全体の半分以上を占め、安定した財源として町の財政基盤を支えています。(表1)

法人町民税

一般会計 予算

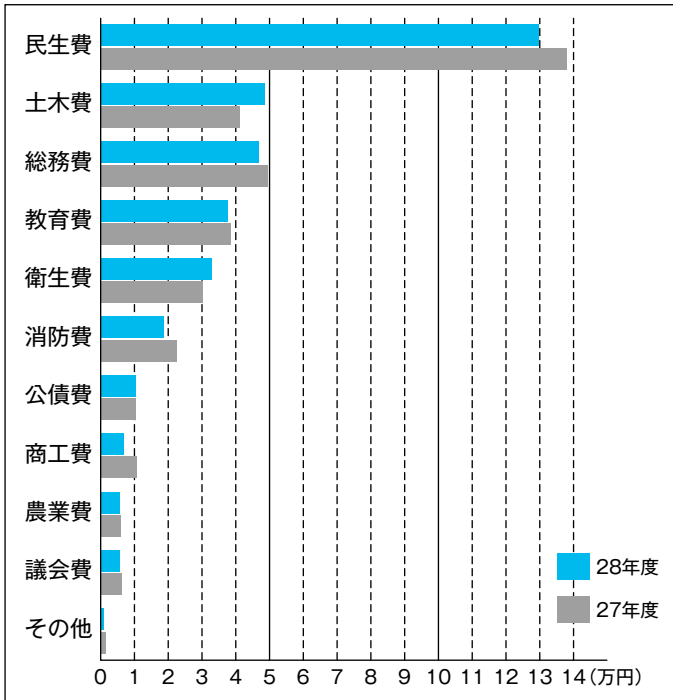


図3 町民1人当たりに使われるお金(目的別)
※人口を23,400人で算出

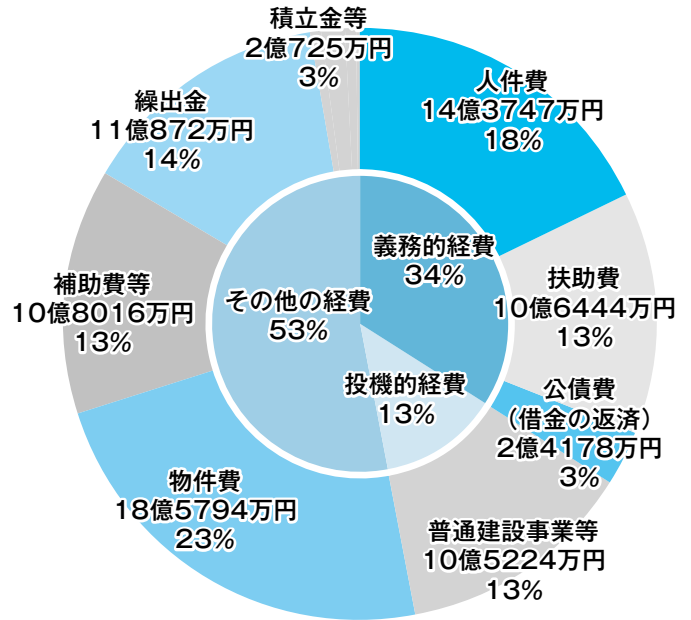


図2 一般会計歳出(性質別)

特別会計 予算

(▲は減額を表す)

会計名	28年度	前年度比較
国民健康保険	25億3007万円	1億3707万円
介護保険	10億7228万円	6563万円
公共下水道	8億7448万円	626万円
後期高齢者医療	2億6131万円	2279万円
土地取得	4091万円	▲3354万円
農業集落家庭排水	3566万円	▲86万円
社本育英	789万円	▲88万円
国際交流	726万円	27万円
計	48億2986万円	1億9674万円

※数値は端数調整してあるため、合計が一致しない場合があります。

- 扶助費 法令に基づき被扶助者に支出される経費(福祉手当、児童手当など)
- 物件費 賃金、旅費、委託料、交際費などの消費的経費
- 補助費等 各種団体への補助金や交付金など
- 繰出金 貯金や他の会計に出すお金

歳出(使いみち)

歳出を性質別にみると、義務的経費は34%です。この比率が低いほど、町独自の施策展開に余力があると判断されます。

投資的経費の普通建設事業は、道水路等の生活基盤整備や将来に向けた施策経費です。(図2)

町民1人当たりに使われるお金では、北保育園

建設、中保育園改修補助、西児童クラブ室改修を含む民生費の割合が最も高くなっています。

また、前年度と比較すると、公園整備により土木費が増加、デジタル受信機更新終了により消防費が減少しています。(図3)

第2期工事へ

継続事業

- ・ **北保育園建設** **4億8112万円**
1期工事(平成27年度 7億7419万円)で完成した園舎で保育を実施しながら、引き続き、2期工事(既設園舎解体、新園舎建設)を行う。
- ・ **子ども医療費助成事業** **1億4702万円**
中学校卒業までの子どもに対し、入院・通院に係る医療費を助成する。
- ・ **道路維持工事** **1億1496万円**
舗装の痛みが激しい道路から、順次、舗装工事を行う。
- ・ 小中学校の給食半額補助・保育園の給食主食代無料(H22~)、幼稚園の主食代相当分補助(H23~)



北保育園は2期工事へ



道路の凸凹などを改善



この日の給食は、町内産の大豆入り

3月議会で決まったおもな内容

3月定例会を、3月2日から24日までの23日間の会期で開催しました。

○町提出(40議案) 平成28年度の一般会計及び特別会計予算、第7次総合計画の策定、行政不服審査会条例の制定や平成27年度補正予算など

採決の結果 [賛成多数] 平成28年度の一般会計予算及び国際交流事業特別会計予算、職員の降給に関する条例の制定、国際交流事業基金の設置及び管理に関する条例の一部改正 5議案

[全会一致] 総合計画の策定、平成27年度の一般会計補正予算など 35議案

○請願及び陳情 採決の結果 [採 択] なし
[不 採 択] 請願1件
[聞きおく] 陳情2件

○議員提出議案及び 採決の結果 [全会一致] 3議案
委員会提出議案

(関連記事 P8)

一般質問では、4議員が町政全般にわたり質問しました。

北保育園完成に向けて

新規事業

- ・ **有機資源の保管所管理・運搬処理** **1684万円**
北部地区の住民の利便性と可燃ごみの減量をさらに推進するため、二ツ屋地内に保管所を開設する。
- ・ **奨学返還金利子補給** **1000万円**
まちの将来を担う勤労青少年の支援策として、奨学金の返還金利子の一部を補助する。
- ・ **資源リサイクルセンター補助業務** **673万円**
従来のコミュニティー・ワークセンターに加え、新たにハートフル大口に資源ごみ分別作業補助業務を委託する。
- ・ **松江市との姉妹都市提携事業** **430万円**
平成27年8月29日に姉妹都市提携した島根県松江市と、お互いのイベントへの住民参加や歴史・文化・観光などの事業で交流を図る。



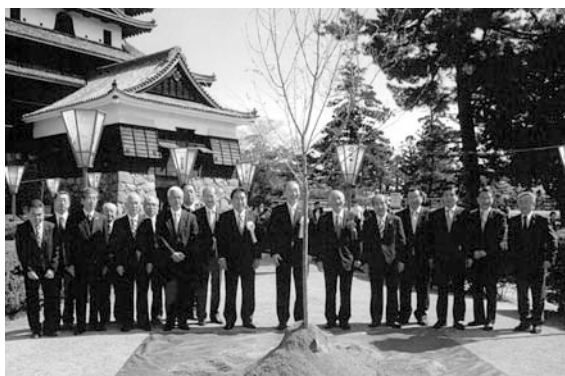
平成18年12月から開設している豊田地区有機資源保管所



剪定枝を保管所へ搬入



リサイクルセンターでの分別作業の様子



イベントなどを通じた松江市との交流



質疑あれこれ

議案質疑、総務建設及び文教福祉の各常任委員会での主な質疑を掲載します。

条例の制定・改正

国際交流事業基金の設置及び管理に関する条例

国際交流事業の実施に必要な財源として国際交流事業基金の一部を処分することに伴い、基金の額を変更する。

問 法人町民税の国税化など厳しい財政状況ではあるが、グローバル時代を生き抜く人を育てるためにも国際交流事業は必要と考えるが。

答 若い世代の生きる力を養い、今後のまちづくりにも活躍してもらおうための機会、研修と位置づけられており、人づくりの観点で大事な事業と考える。事業の在り方など、推進委員始め海外派遣参加者OBの方々の意見を聞きながら検討し、継続していきたい。

児童厚生施設等の設置及び管理に関する条例

一部の児童遊園について、児童厚生施設としての種類が変更となる。

問 北の山児童遊園（上小口丁目地内）の近くは住宅が建ち、若い世代の転入が多い地域のため、トイレを設置しては。

答 地元と協議し、使用頻度等がない状況を把握した上でトイレを撤去した。開発により整備された地域には公園もつくられており、子どもの居場所は確保されている。

第7次総合計画の策定

まちづくり基本条例の規定により、議会の議決を求める。

問 前計画の「基本理念」と「将来像」を引き継ぐとのこと。今後、目標をどうやって実現していくのか。

答 第7次総合計画では、基本計画に数値目標を設定した。

計画に「位置づけられない」から「やるべき」位置づけられているからやるのではなく、社会・経済状況の変化によっては計画を見直しながら具体化していく。



総合計画は、今後10年間の「まちの羅針盤」
(写真は第6次計画)

平成27年度一般会計補正予算

〔未満児保育〕

問 未満児が増えているが、1つの教室に多くの子どもが詰め込まれるようなことはあってはならない。スペース面はどうなっているか。

答 増加する未満児保育に対応するため、現在建設中の北保育園を含め、全園で確保していく。北保育園の保育室は他の保育園より一回り広く、今後さらに未満児保育のニーズが高まった場合を想定し、図書室等、他の部屋を保育室へ転用できる設計としている。

平成28年度一般会計当初予算

「雉子野橋の架け替え工事詳細設計委託」

問 雉子野橋より古い橋があるのでは。架け替えの順番は。

答 平成22、23年度に調査した結果、点検整備対象は35橋。今後、維持管理しながら長寿命化を図る計画だが、架け替えに相当するのは、雉子野橋、河北橋の2橋。
富士見橋などは古いが、修繕で行う予定。

「学校給食 町内産の食材」

問 学校給食における町内産の食材の状況は。

答 平成26年度決算で、給食センターに届けられた野菜の総重量4万5941kgのうち6315kg(13.7%)が町内産。食材では35品目中10品目。購入額は252万9995円で、総額約1億円からみるとわずかだが、今後できるだけ町内産の食材を子どもたちに食べさせたい。

「ふるさと納税の返礼品」

問 返礼品の内容は。

答 返礼品は、制度本来の趣旨である「ふるさと」の事業を応援したい」という方に対し、その事業から生み出されるようなものを考えている。
松江市とのご縁関係の返礼品では、両市町の食べ物や飲み物など。他に、五条川の桜の間伐材から作った箸置きなどを予定。

「保育園 看護師配置」

問 昨年11月の議会報告会で「保育園に看護師を配置してほしい」という声があった。まずは配置してもらいたい。

答 募集しているが、現時点で応募者はない。看護師には、保育園の健康全般を前提として、緊急時の対応、健診などを担ってもらい、未満児クラスへのフォローも予定している。病院など関係機関との連携もスムーズにいくと考える。

「民生委員の選任」

問 民生委員は役割の多様化や負担の増加で、選任に苦慮する地区もある。

答 役割が多く大変な一方で、やりがいがあると言われる方もいる。できる限り業務をスリム化し、務めていただきやすい環境に改善していきたい。

「新図書館の整備」

問 具体的に、どういう図書館を目指しているのか。

答 財政状況から建設の時期は明言できないが、本を読む人、勉強する人、話をする人など、子どもたちを始め多世代が集い、くつろげる空間に図書館を融合させた、複合施設を目指している。

「堀尾跡公園等のトイレ改修工事」

問 改修の内容は。

答 平成7年の開園以来、未改修のトイレを和式から洋式に取り換える他、公園全体の改修を進める。併せて、豊田堀尾跡児童遊園のトイレの建替えも予定している。



大型車の交通量も多い雉子野橋



改修予定の堀尾跡公園のトイレ

賛否の分かれた議案

他の35議案は全員賛成で可決

○=賛成 ×=反対

議案名	議員名													結果		
	船戸	吉田	岡	酒井	鈴木	大竹	伊藤	柘植	齊木	大島	丹羽(孝)	宮田	丹羽(勉)		木野	倉知
職員の降給に関する条例の制定	○	×	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○		○	可決
国際交流事業基金の設置及び管理に関する条例の一部改正	○	×	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○		○	可決
平成28年度一般会計予算	○	×	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○		○	可決
平成28年度国際交流事業特別会計予算	○	×	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○		○	可決
平成28年度後期高齢者医療特別会計予算	○	×	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○		○	可決

(議長は裁決に加わらないため空白)

賛否が分かれたら議案の討論要旨は左のとおりです

反対討論 吉田 正
職員の異議申立てがしにくい状況下での条例制定は不公平。業績評価は失敗を避け、チャレンジする職員がいなくなる。

職員の降給に関する条例の制定

賛成討論 伊藤 浩
慎重に条例を運用し、職員の評価をコミュニケーションの1つと捉えれば職務遂行に役立ち、町の活力にも繋がる。

反対討論 吉田 正
3年かけて交流のあり方を検討するのは賛成だが、基金を取り崩しながら進めるのは、次の段階に入ってしまうこととなり疑問。町の考え方も議会で示されなかったのは残念である。

国際交流事業基金の設置及び管理に関する条例の一部改正

賛成討論 鈴木義彦
基金運用益のみの事業展開は難しく、一般会計からの繰入金も増加する中、参加者負担金の見直しも図られた。基金が設けられた25年前とは事業のあり方も変化しており、国際交流事業推進委員会においても了承されている。

反対討論 吉田 正
法人町民税の減収で町財政が厳しくなる原因は現政権によるもので、地方分権とは言えない。

教育分野の新制度である奨学金の利子補給、放課後の学習支援には敬意を表する。

中小企業や農業の振興、高齢者施策の拡充、保育士の待遇改善などを求め反対。

平成28年度一般会計予算

賛成討論 伊藤 浩
国の税制改正に伴い、税収減となる中、財源確保に努めながら必要不可欠な事業を予算計上。限られた財源で町全体のバランスを考えた予算編成である。

反対討論 吉田 正
事業そのものに関して賛成。ただし、「国際交流事業基金の設置及び管理に関する条例の一部改正」が本予算の前提であるため反対。

平成28年度国際交流事業特別会計予算

賛成討論 酒井 正宗
本予算は、条例に基づいた予算編成がなされている。

反対討論 吉田 正
賦課限度額までの負担は、高額所得者ほど有利。均等割の引上げにより、低所得者の負担が増加。不公平の上なく、納得できない。

平成28年度後期高齢者医療特別会計予算

賛成討論 岡 孝夫
後期高齢者の増加や医療の高度化により、医療給付費の増加が見込まれる。その結果財源となる保険料の見直しが必要となる。

請願・陳情

3月議会に提出された1件の請願、2件の陳情は、所管の常任委員会で審査しました。

【請願】

・ 平和安全保障関連法廃止の意見書採択を求める請願
(賛成少数で不採択)

請願者

日本共産党大口支部

支部長 江幡満世志

紹介議員

吉田 正

【陳情】

・ 軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防
その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情

(聞き置く)

陳情者

軽度外傷性脳損傷仲間

の会

代表 藤本久美子

・ 未来の有権者のための、模擬投票所設置に関する陳情

(聞き置く)

陳情者

任意団体Kids Voting

Japan

代表 寒川 友貴

議員提出議案

1 議案を全員賛成で可決し、国の機関などへ議会から意見書を送付しました。

・ 児童虐待防止対策の抜本強化を求める意見書

(全員賛成で可決)

提出者

柘植 満

・ 臨時議会

委員会提出議案

2月23日、「地方

人税運用の改善を求める意見書」を全員

賛成で可決、全文は下

記のとおりです。

全員賛成で国へ意見書提出

【地方法人税運用の改善を求める意見書】

平成28年度税制改正大綱では、地方法人課税の偏在を是正し、地方創生推進、分権型社会を実現するとしている。国県市町村の財政状況が厳しい中、地方法人課税の偏在是正が、過疎地や産業立地の厳しい地域を念頭に置いた偏在を調整することを目的とした財政調整制度であることは理解できる。しかし、国の制度が、財政力の弱い自治体への支援という名のもとに不交付団体への配慮を欠いているという現状は、国民に対する公平と平等の観点から大いに問題があると言わざるを得ない。

国は、平成27年6月末に決定された「経済財政運営と改革の基本方針2015」において、「地方の税収増が見込まれる中、『税制抜本改革法』を踏まえ、地域間の税源の偏在を是正する方策を講ずる」とされており、法人住民税の国税化のさらなる拡大や他の偏在是正措置の導入の可能性が危惧される。

真の分権型社会を実現するためには、国と地方の役割分担を明確にし、地方がその責任と権限に応じた役割を果たせるよう、地方税財源の拡充を図る必要がある。

大口町は、先人の地道な努力によって築き上げてきた不交付団体であることの自負と、不交付団体であり続けようと、町民、議会、職員が連携協力し、行財政改革の推進など様々な経営努力を積み重ねてきた。現在、町には、子育て・教育環境の整備、福祉・医療の充実、老朽化した公共施設の維持・更新、防災力の強化など、膨大な財政需要が存在している。

地方自治体が、こうした多岐にわたる課題に適切に対応し、充実した住民サービスを提供していくためには、需要に見合う財源の確保が不可欠であり、限られた地方税財源の中での財源調整では根本的な解決を図ることはできない。よって、本議会は、下記事項について特段の配慮を賜りたく強く要望する。

記

- 1 地域間の財政力格差是正は、地方交付税の財源である国税五税の法定率引き上げ等、制度改正により実現すること。
- 2 不交付団体に対する特別交付税の基準を緩和すること。
- 3 地方が担う権限と責任に見合う地方税財源の拡充という本質的な問題に取り組むこと。

ここが聞きたい!

一般質問

町政を問う

4議員が質問

「一般質問」とは、行財政にわたる議員主導による政策の議論です。(通告順)

丹羽 孝	自転車安全利用条例の制定を 障がい者にやさしい環境整備を	P11
吉田 正	小規模企業の振興対策を 必要な人にタクシー助成を	P12
柘植 満	高齢者の見守り SOSステッカーの交付を 「妊娠・出産・子育て」の切れ目のない支援を	P13
岡 孝夫	若い世代の定住策を	P14

一般質問

追 跡

以前の一般質問から

あれから どうなった?

以前の定例会で取り上げられた一般質問の中から、その後の町政にどのように反映されたかを調査しました。

平成27年3月議会(宮田 和美)

北地域に防災センターを

問 国道41号東側には公的な施設がなく、万一の災害に備えて防災センターを作ってほしいが。

答 行政区の学共や区民センターを、災害時に地域の防災拠点として活用できるよう勤めている。

地域避難所は、地域の皆さんによって運営していただく必要がある。実効性のある運営体制が整備された地域の学共から順に、地域避難所として指定していく。

質問者の満足度

がっかり

現状、学共では対応できない。国道41号東部に、強固な防災センター建設を前向きに検討していただきたい。

どうなった

平成27年3月議会(柘植 満)

代読、代筆専門員の養成を

問 高齢化社会に向け、代読、代筆専門員の養成が必要では。

答 現在支援を行っている方々へのスキルアップできる支援と、支援者のすそ野を広げることが今後の課題と考え検討していく。

近隣市で支援講習会を開催した事例はあるが、町の状況に合った支援とは言いがたく、現在まで実施には至っていない。

質問者の満足度

がっかり

高齢化が進む社会において、社会参加や共生社会の実現に重要な支援である。

自転車安全利用条例の制定を

部長 自転車に特化した条例は考えていない

丹羽 平成27年の町の交通事故の状況と事故減少対策は。

自転車運転ルール周知

対策と賠償請求事故に備

地域協働部長

自転車と自動車との運動者各々が交通ルールを守る

丹羽

平成27年の町の交通事故の状況と事故減少対策は。

地域協働部長

自転車と自動車との運動者各々が交通ルールを守る

丹羽

平成27年の町の交通事故の状況と事故減少対策は。

地域協働部長

自転車と自動車との運動者各々が交通ルールを守る

丹羽

平成27年の町の交通事故の状況と事故減少対策は。

地域協働部長

自転車と自動車との運動者各々が交通ルールを守る



丹羽 孝

交通事故調べ

区分	大口町	江南市
人身事故(件)	264	599
住民1万人当たりの発生数	114	61
死亡者(人)	2	2
死傷者(人)	313	712
住民1万人当たりの発生数	135	72
物損事故(件)	1,092	2,617
住民1万人当たりの発生数	470	264
住民数(人)	23,240	98,963

愛知県警察資料

障がい者にやさしい環境整備を

部長 負担になり過ぎない範囲で、合理的配慮に努める

丹羽 4月1日から施行の「障害者差別解消法」への本町の対応状況と今後の予定は。

健康福祉部長

障がい者に対し、職員

には障がいの特性に応じた合理的配慮が求められる。

本年2月、グループ

「ターゲツト職員と保育士を対象に、障がい者への理解と配慮の方法を学ぶ研修を開催した。

今後、町の広報ホーム

ページ等で法律の内容に関する啓発活動を実施していく。

丹羽 町施設の車いす用スロープの設置状況は。

健康福祉部長

河北学供及びび二ツ屋学

共を除き、必要と思われるすべての施設に設置している。なお、河北学供は28年度中の設置を検討している。

丹羽 議会傍聴を希望される障がい者への対応は十分か。

健康福祉部長

現在は、車いすの使用等、

自力で歩行できない方が4階の傍聴席に上がることは困難。そのため、複数の職員で車いすを抱えるなどして傍聴席に案内するか、パソコン上で議会議中継を観ていたどうかのどちらかの方法により、合理的配慮に基づき対応している。

施設改修までの間は、障がい者にとって過度の負担にならない範囲で、配慮していく。



吉田 正

小規模企業の振興対策を

部長 現行の支援をより活用し、地域の活性化に結びつけたい

吉田

中小企業振興条例
をつくり、売り上げ

を増やし、後継ぎ対策を
行っていたきたいが、町
長の見解を伺う。

産業建設部長

プレミアム
商品券の発

行など、現行の中小企業
支援をより活用し、地域
の活性化に結びつけたい。

必要な人にタクシー助成を

部長 重度の障がい者を対象としており、
拡大する考えはない

吉田

町内の障害者手帳
の所持者数は。

健康福祉部長

表のとおり。

吉田

障害者差別解消法
が4月1日から施

行される。町は障がい者
に対して、合理的配慮を

健康福祉部長

平成27年度
から、精神

障害者保健福祉手帳1級
の方を対象に拡大した。

行わなくてはならない。あ
る精神障害者保健福祉手
帳2級の人は、雨が降る
と通院に困っている。必要
な人にタクシー助成をす
べきでないか。

外出支援サービス事業
は、重度の障がい者を対
象と考えており、現時点
でさらに拡大する考えは
ない。

条例は近隣市町でも模
索する動きがあるが、本
町としては制定の有無に
関わらず、必要な対応を
講じていきたい。

後継者不足による高い
技術や魅力的商品の消失
は深刻な問題と認識して
いる。事業の継承のため、
中小企業の経営改善を始
め、商工業団体と行政が一
緒になり、後継者育成の
取組みに注力していきたい。

障害者手帳所持者数（平成28年2月29日現在）

身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者保健福祉手帳	
1級	176人	A判定	57人	1級	17人
2級	96人	B判定	35人	2級	97人
3級	140人	C判定	54人	3級	24人
4級	167人	合計	146人	合計	138人
5級	48人				
6級	41人				
合計	668人				

高齢者の見守り

SOSステッカーの交付を

部長 導入済の自治体の動向を検証

柘植 SOSステッカーは、認知症で徘徊する

健康福祉部長

ステッカーは、認知症の高

本町では、徘徊される方を消防団員、消防署、町職員が搜索する独自の体制を取っている。

恐れのある高齢者のためのもので、アイロンで圧着し、持ち物に簡単に貼れる。QRコードが印刷されて

年齢の方が徘徊された時の早期発見や保護に一定の効果はあると考える。

また、新聞・飲料販売店や金融機関など30事業所と見守り協定を結んでおり、地域全体で高齢者を見守る施策をさらに充実

おり、読み取れば担当連絡先も表示される。SOSステッカーの交付について伺う。

一方で、家族の同意により認知症を明らかにする制度のため、詐欺に悪用される可能性の懸念があり、今しばらくは導入済の自治体の動向を検証したい。

見守る。また、新聞・飲料販売店や金融機関など30事業所と見守り協定を結んでおり、地域全体で高齢者を見守る施策をさらに充実



柘植 満



志木市の見守りSOSステッカー（出典：志木市HP）

「妊娠・出産・子育て」の切れ目のない支援を

部長 住民と行政の距離が近い利点を生かした支援をする

柘植

産前・産後サポート、産後ケアの取組みにおける家事支援ヘルパー制度の考えを伺う。

住民と行政の距離が近い利点を生かし、温かみのある子育て支援情報を提供していきたい。

健康福祉部長

本町でのニーズは聞いていないが、ニーズが増大してきた際は先進自治体を参考に検討したい。

柘植

食事が満足にとれない子どもたちに、無料や低価格で食事を提供する「子ども食堂」を導入できないか。

「子育て応援アプリ」の配信を。

柘植

スマホを使って様々な情報提供を行う

健康福祉部長

東京都内を中心に導入

「子育て応援アプリ」の配信を。

健康福祉部長

スマホなどを活用した、必要な時に必要な情報が得られるシステムは便利ではあるが、多額なコストがかかる。

学習支援と合わせた子どもの居場所づくりを総合的に調査、研究していく。



子育て支援にスマホアプリを活用（出典：東京都世田谷区HP）

若い世代の定住策を

部長 本町を選んでもらえるような施策が必要



岡 孝夫

岡 本町と近隣市町の年少・生産年齢・老年人口の比率は。

総務部長 下表のとおり。

岡 若い世代にとつて、本町の強みと弱みとは。

総務部長 雇用の場の多さ、車を利用すれば利便性が高いことが強みであり、飲食店や娯楽施設等が少ないことは弱みと言えるかもしれない。

岡 町内にある企業等の寮にお住いの方の人数は。

総務部長 正確な人数は把握できないが、住民登録の際、企業の寮などとして届出された所

在での集計では、平成28

年3月1日現在で373人。

岡 各社の寮に何うなどして、多様な意見を聴く機会を。

総務部長 若い世代の方の定住促進のため、本町を選んでもらえるような施策の検討が必要。

今後、施策を進める中で必要があれば、寮にお住いの方から直接意見を伺う機会を設けることを検討する。

岡 施策競争で、地方自治体間の消耗戦にならないか。

総務部長 国全体で人口が減少する中、

多くの市町村が少子・超高齢社会への対応を検討しているが、本町では今しばらく、人口は微増すると推測している。

第7次総合計画では、子育て環境や住環境を改善し、より住みやすいまちとすることで、人口バラン

スが保てるような施策の方向性を示している。

岡 本町の特徴から、シテイーセールスは対外的のみでなく、町内にも。

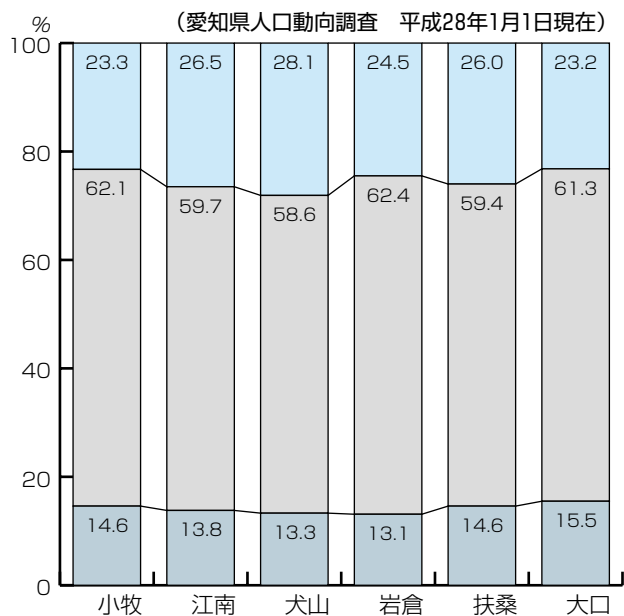
総務部長 本町は、やや情報発信力に乏しい面があると感じている。今後、広報広聴活動を

見直し、プロモーション活動を検討するが、対象を町外に絞ってはいない。

まずは、町民や企業の皆さんに、まちの魅力を

知っていただき、誇りを持つていただくことが重要。併せて町外へ、積極的に発信していく。

近隣市町年齢別人口構成比



(単位:人、%)

	小牧		江南		犬山		岩倉		扶桑		大口	
	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
老年(65-)	34,225	23.3	26,186	26.5	20,812	28.1	11,392	24.5	8,808	26.0	5,388	23.2
生産年齢(15-64)	91,251	62.1	58,998	59.7	43,411	58.6	29,018	62.4	20,157	59.4	14,230	61.3
年少(0-14)	21,377	14.6	13,575	13.8	9,864	13.3	6,102	13.1	4,951	14.6	3,604	15.5
合計	146,853	100.0	98,759	100.0	74,087	100.0	46,512	100.0	33,916	100.0	23,222	100.0

北保育園の建設現場を視察

議会は、北保育園の建設工事の進行状況を調査するため、定期的に現場を視察しています。

北保育園は、平成27年度の工事が完了しました。当初、工事は28年度までの2か年を予定していましたが、仮設園舎の取り壊しや園庭の工事などのため、29年度までの3か年に変更されました。28年度は、旧園舎の解体の他、新園舎の工事などが予定されています。



H27/10/23 園舎 屋根工事(県内地場産業の三州瓦で施工)



H28/1/29 遊戯室 天井(間伐材を利用した木造で施工)

町内視察

議会広報

近隣市からも視察に

町村議会広報全国コンクールで過去8回受賞した経緯から、平成27年度は近隣の岩倉市と小牧市を含む4議会の視察がありました。

研修では、本町の編集方針「分かりやすく」「ありのままに」を始め、「目を引く見出し」など、編集の工夫を説明した上で、紙面づくりで抱えている課題の対応について意見交換しました。

他自治体の視察来庁は、本町にとっても絶好の研修の機会となります。どの議会も、より多くの住民に読んでもらえるような紙面を目指して努力しており、互いのよいところを積極的に取り入れるため研修しました。

来庁日	市町議会名	人数
1月18日(月)	岩倉市議会	7人
1月21日(木)	兵庫県稲美町議会	8人
1月27日(水)	京都府木津川市議会	10人
2月10日(水)	小牧市議会	9人

紙面をリニューアル

今号から、紙面をオレンジ系からブルー系の配色に見直しました。

今後も記事の内容や構成に配慮し、目に優しく読みやすい紙面づくりに努めます。



編集方法について意見交換する委員

地産地消で大口町の農業を元気に おおぐち農業ステーション 「地恵の輪」の活動を紹介します。

まちの 元気者

♪ 名前の由来は？

「地」は地産地消を表し、「恵」は食材の恵みを表しています。また、大口町産の多くの食材を食べてもらって、人とのつながりが深まり、それが農業の発展にもつながってほしいという願いを込めました。

♪ どんな活動をしているの？

農業従事者やレストラン経営者などで、町の食材を使った料理教室の開催や、ふれあいまつりで米粉を使用した食べ物を販売しています。他に、給食センターへ食材を納品しています。



若い力で、農業を支えています

♪ うれしかったことは？

食材の生産者の思いや志が食べた人に伝わり、おいしかったと感じてもらえる時です。

♪ 町や町議会への要望などありましたら？

地産地消の推進のためにも、ぜひ給食に大口町産の食材を使用したメニューを、もっと増やしてもらいたいです。



町内産の食材を使った料理教室の様子

取材を終えて

農業や他の職業の若い人たちが、地産地消を進めるため多くの企画を実施し、人とのつながりを大切にしてみえる姿に感動しました。この活動がもっと広がることを期待しています。

(伊藤 浩)

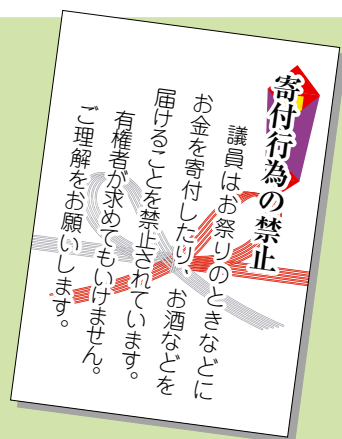
表紙の写真

■ さよなら僕たちの保育園 ■

3月28日、たくさんの思い出を胸に保育園を卒園しました。

大好きなお母さん・お父さん、先生、見守ってくださったすべてのみなさん、ありがとうございました。小学校へ行っても頑張ります。

発行責任者
議長 木野春徳
副議長 伊藤野
委員 酒井孝
委員 吉田正
委員 鈴木義彦
委員 丹羽宗彦



会議録が閲覧できます

<http://www.town.oguchi.aichi.jp/2741.htm>



みなさん議会傍聴に 来てください

6月定例会予定

- 6月 1日(水) 提案説明
- 6月 7日(火) 質疑・委員会付託
- 6月 9日(木) 総務建設常任委員会
- 6月13日(月) 文教福祉常任委員会
- 6月15日(水) 一般質問
- 6月16日(木) 一般質問
- 6月21日(火) 討論・採決

手続きは簡単です!
役場3階で住所と名前を書くだけ